



魚沼杉ブランドイメージ拡大事業

魚沼木材協同組合

住 所	〒948-0056 新潟県十日町市高田町6丁目657番地9		
U R L	https://www.uonumamokuzai.com/		
設 立	昭和42年1月	主 な 業 種	木材卸売業、土木工事業、建築工事業、一般製材業、家具製造業、建具製造業
組 合 員 数	56人	出 資 金	112,900千円

■背景・目的

当組合は、組合員である地元工務店への建材販売等を既存事業として行っているが、人口減少や大手企業の進出などにより、今後の地元工務店への建材需要減少が見込まれる。従来とは異なる販路に焦点を当て、新たな売上基盤の確立を目指すべく、地元で採取できる「魚沼杉」をブランド化し、販売していく。

■取組みの手法と内容

当組合の主力商品である「魚沼杉」は、豪雪の影響で年輪が細かく色が濃くなる特徴があり、他地域の木材とは差別化が可能である。今までは色の濃い木材や雪の重みで根が曲がった木は敬遠され、活用が進んでいなかったが、現在は魚沼杉の個性的な色や形が注目され、地元工務店だけではなく魚沼地域以外からも注文が入っている。建材需要減少が見込まれる当組合にとって、ブランド化した魚沼杉の販売が今後の要となるため、組合員をはじめ魚沼杉を取り扱う企業へ受注が入るよう、魚沼杉のPR活動を行っている。

具体的には、魚沼杉製品を扱う工房の紹介や展示会への出展、地元観光イベントを目標としたソロキャンプセットの販売、地域団体商標の獲得である。2019年には東京ビッグサイトで開催された「モクコレ」に出展し魚沼杉のPRを行った。ソロキャンプセットの販売では、魚沼地域で「大地の芸術祭」というイベントに毎年多くの観光客が訪れているが、観光客向けの宿泊施設が少ないという課題と、現在ソロキャンプが流行していることを掛け合わせ、軽トラックの荷台で作成できる「stack-UC」を製作。観光客に魚沼杉を用いた軽トラハウスで宿泊してもらい、観光イベントに合わせたブランドPRを行う。

■成果とその要因

本事業の背景に大手ハウスメーカーの地方進出があるが、価格の安さで勝負するのではなく「魚沼杉」のブランド化戦略で、品質の面から差別化を図る方向へ舵を切ることができたのが最大の成果である。デザインと品質を兼ね備えた現在のニーズをうまく読み取りブランド戦略に活かしたことで、今後もさらなる需要獲得が見込まれる。



魚沼木材青年部のメンバー写真



魚沼杉を使った住宅



Point

当事業の成功要因は、地域課題を逆手に取った地域資源の活用、またデザインと品質を兼ね備えた現在のニーズをとらえていることである。